

2012年1月15日
株式会社タウンズ

インフルエンザウイルスキット

イムノエースFlu Q&A

Q 1.陽性のラインが8分後には消えてしまった。どのように判定すればよいか？

A 1.テストプレートの試料滴下部に試料を滴下すると白金-金コロイド標識抗体（以下、標識抗体という）が溶解し、展開部を毛細管現象によって移動します。この際、検体由来成分の影響で、標識抗体にわずかな凝集が起こり、テストラインの位置を通過する際に標識抗体の流れが悪くなっていることが原因として考えられます。標識抗体がテストラインの位置をすべて通過し終えたため、見えていたラインが消失した可能性が考えられます。8分後にラインが見られない場合、判定は陰性となります。

弱い陽性反応の場合は、8分経過してから陽性、陰性の判定を行っていただくようお願いいたします。

Q 2.発熱がありインフルエンザ様の症状を呈している患者さんにインフルエンザの検査を行なったが検査結果は陰性だった。どのように考えればよいか？

A 2.本品は、インフルエンザAウイルス抗原及びインフルエンザ B ウイルス抗原を迅速に検出するための試薬です。本品の最小検出感度は、インフルエンザAウイルス抗原の場合は 7.5×10^3 TCID₅₀/テスト、インフルエンザ B ウイルス抗原の場合は 7.5×10^4 TCID₅₀/テストですが、患者さんから採取した検体に含まれているインフルエンザウイルスの抗原量が最小検出感度よりも少ない場合には、検査結果が陰性と判定されることがあります。本品の判定結果が陰性であっても、インフルエンザウイルスの感染を直ちに否定するものではありません。確定診断は、臨床症状やウイルスの分離培養等、他の検査結果と合わせて担当医師が総合的に判断して行なって下さい。

**Q 3. 試料を滴下してから展開に時間が掛かった。通常よりコントロールラインも薄かった。
どのような原因が考えられるか？**

A 3. 滴下した試料の液量が不足していることが原因の一つとして考えられます。液量不足の場合は、試料を1滴追加することにより改善されることがあります。抽出用容器を斜めに傾けて滴下すると滴下液量が少なくなる場合がありますので、試料滴下の際は、抽出用容器は垂直に保持し、容器の中ほどをつまみテストプレートの試料滴下部にゆっくりと試料3滴を滴下してください。

また、テストプレートが吸湿して品質が劣化している場合、展開に時間が掛かることがあります。テストプレートを開封した後は、速やかに試験を行なって下さい。

別のテストプレートで試験をやり直しても同様の場合は、弊社までお問い合わせ下さい。

Q 4. A, Bともにラインが出た。どのように判定すればよいか？

A 4. A型とB型の両方のインフルエンザウイルスに感染していた臨床例もありますので、両陽性の可能性は否定できません。A型、B型ともに陽性と判定してください。但し、いずれかのラインが非常に薄い場合、検体由来成分等の影響による非特異反応の可能性もあります。

Q 5. イムノエースFluについて、病日とキットの陽性率に関する情報はありますか？

A 5. 高崎小児科医院、しんどう小児科医院、やました小児科医院、横山小児科医院、しばおクリニック、いわや小児科クリニックの6施設で行った評価¹⁾があります。

<参考文献>

- 1) 高崎好生, 進藤静生, 山下祐二, 横山隆, 芝尾京子, 岩屋美奈子, 福田徹三, 柏木征三郎: 新しい技術白金-金コロイドを用いたインフルエンザ迅速診断キット”イムノエース Flu”の評価. 臨床と研究. 85: 1804~1807, 2008